

新役員決まる

5月19日の町田市町内会・自治会連合会定期総会にて安達廣美氏の連合会長選出と連合会各担当役員が承認されました。2019年度連合会新役員を紹介致します。



市連合会会長 安達 廣美

年号も令和に変わり、市連と致しましてここから新たなスタートをきることとなりました。市行政は勿論のこと、関係諸団体と連携を密にし、また、都町会連合会常任理事会において都庁からの新たな取組や、支援・助成金の見直し等の情報提供があった場合には、速やかに市連に持帰り、検討し有効活用を考えていきます。役員各位と共に、事業計画や課題解決を考え、安全・安心な街・魅力的な街づくりを日々進めていきます。

町田第二地区会長
中 一登 会長代行

生活環境の変化、多様化に伴い町内会・自治会（連）があるよう思っております。連合会の規約目的（第3条）ののっとり連合会の発展、親睦、福利の増進としており、これらの活動、行動を会員各位の皆さんの目に見える形でスピード感をもって進めてまいりたいと思いますので本年度も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

南地区会長
長谷川 義剛
副会長（総務担当）

今年は官民連携で開発を進めて来た「南町田グランベリーパーク」が11月に街びらきを迎え、町田のしい南の玄関としてオープンします。南地区の44町内会・自治会は「みんなのみなみ」の合言葉のもと、さらなる安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指し、地域の皆様と協力して行きます。

高ヶ坂成瀬地区会長
木目田 和良
副会長（総務担当）

高ヶ坂成瀬地区では、昨年に引き続き大地震を想定し、各町会にて避難訓練を実施していただきたいと考えております。これを実施する事によって地震に対する住民の意識を高めていき、事が起きた時に速やかに対応が出来ればと考えます。

町田第一地区会長
宮島 榮一
副会長（庶務担当）

町田市の心となる商店街及び小田急線・JR両駅、そして駅に近い緑豊かな芹ヶ谷公園を抱える地域として防火・防災・防犯等様々な悩みもありますが訪れる方々、住民の皆様が楽しく安心していただける街づくりをして行きたいと町内会自治会連合会、商店会一体となり日夜努力し頑張っており参ります。

玉川学園南大谷地区会長
徳力 幹彦
副会長（庶務担当）

この連合会は、10の町内会・自治会（玉川学園町内会、南大谷町内会、玉川学園第一住宅自治会、玉川学園興人自治会、玉川学園松風台自治会、桜ヶ丘自治会、旭ヶ丘自治会、玉川学園南台自治会、南大谷団地自治会、ユニヴェルシオール自治会）で構成されており、毎月、第二水曜日に会議を開いています。

木曽地区会長
竹島 正
副会長（広報担当）

町内会・自治会のやるべき仕事は三つあると思います。一つ目は回覧板などによる地域に根ざした情報提供。二つ目は盆踊り、どんど焼きなどを通しての地域交流。三つ目は個人やグループからの人・物・発想（アイデア）など集めた情報を他のグループ等と結び付け、実のあるものにする為のネットワークづくりです。

忠生地区会長
高橋 清人
副会長（総務担当）

すべての世代が助け合う、安全で住みやすい地域を目指しています。モノレール導入道路、小田急延伸などの早期実現、リサイクルセンター建て替え後の環境保全と周辺まちづくりなどに取り組んでいきます。

鶴川地区会長
大川原 久
副会長（会計担当）

令和元年を迎えましたが、町田市内の特殊詐欺犯罪被害は、調布市に次いで東京で2番目に多く発生しております。鶴川地区では高齢者から、高額な金品を騙し取り、今や中学生を受け子として犯罪に加担させる卑劣な特殊詐欺犯罪の根絶を目指し犯罪のない安心安全な街づくりを目指します。

小山地区会長
関 和夫
副会長（会計担当）

小山地区は、ここ数年新築マンション建築ラッシュで3万人を超え、世帯数11903世帯に、建設計画もまだあります。マンションは管理組合が主体で自治会組織の無いところもあり、今後の課題として自治会組織設立の支援をし小山の仲間として連合会に加入促進を図ることに取り組めます。

相原地区会長
井上 正行
副会長（広報担当）

相原地区は、緑が多く自然環境にも恵まれた中で、安全で住みよい街づくりを目指して、それぞれの町会、自治会が結束して活動して来ましたが、新しい時代の町内会・自治会の在り方を模索しながら、地区協議会を始め、関係諸団体と連携し、活動を進めていきたいと考えております。

【令和元年度定期総会開催】

令和元年度の町田市町内会・自治会連合会(市連)の定期総会は町田市民フォーラムにて5月19日(日)午後1時より開催されました。当日、壇上には来賓として石阪市長、若林市議会議長、衆議院から小倉議員、伊藤議員他都議会議員、市議会議員など市連との関わりの深い方々が多数列席されました。

安達会長の挨拶の後、5名様から祝辞を頂きました。



(安達会長挨拶)



(石阪市長挨拶)

総会は市連加盟 226 団体のうち出席者 140、委任状 69 の計 209 をもって総会成立要件を満たしているとして、宮島副会長から開会宣言が言い渡されました。

その後仲村議長、原書記が選出され議案審議に入りました。

(第1号議案) 平成30年度事業報告 (抜粋)

- ・ 広報活動の推進と地区連合会との情報共有、連帯強化。
年4回発行の「連合会だより」や他の広報誌、ホームページを活用しての情報発信。
- ・ 9月13, 14日の会長研修会は福島県震災復興視察。
3月9日の会長研修会は町田市消防署会議室で行われた防火・防災講演。
- ・ 防火・防犯・交通対策として、町田市総合防災訓練への参加。
- ・ エコ社会の啓発と活動の推進については、循環型施設周辺まちづくり協議会や廃棄物減量等推進実行委員会への参加。
- ・ 明るい街づくりのための協力と推進については、社会福祉協議会、町田警察署、南大沢警察署、市防災安全課等の連携強化。

- ・ 60周年記念事業として、避難所開設マニュアル作成、発行、配布。

東京都宅建協会、全日本不動産協会との紹介加入促進に関する協定書締結。

市連のロゴマークを策定し、各会長へのバッジ配布。



五角形は市制施行5カ町村を、10角形は現在の連合会の数を表現しています。町田市を市民の和(輪)でつなぎ、手に手を取り合って町田市・10地域を支えあう連合会の姿を表しています。

(第2号議案) 平成30年度決算報告 同会計監査報告
質疑後、第1号議案・第2号議案は賛成多数で可決されました。

(第3号議案) 令和元年度事業計画(案)

- 1 加入促進と事業運営の充実
 - 2 広報活動の推進と地区連合会との連携強化
 - 3 会長研修の充実と地域の課題を市政に反映
 - 4 防災・防犯・交通対策の強化
 - 5 エコ社会の啓発と活動の推進
 - 6 明るい街づくりのための協力と推進
 - 7 その他連合会の目的に合致する事業の推進
- 以上7項目。

(第4号議案) 令和元年度予算(案)

第3号議案・第4号議案とも質疑なく、賛成多数で可決承認されました。

(第5号議案) 会長承認

市連会長として、引き続き安達廣美会長が再任されました。また、小山地区の新副会長として関和夫会長、相原地区では井上正行会長が承認されました。他の地区長も副会長として承認されました。(1面参照)

最後に、退任された粉川・平山前副会長の2名の役員に感謝状が、また永年町内会自治会長として活躍された方々に表彰状が贈呈され令和元年度の総会は終了しました。

(編集長：竹島 正)